

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 青少年健全育成の推進  
 基本事業 心のケアの充実

事業名 **悩みを抱える児童生徒への支援事業 (光交付金)**

[0982]

部名	教育部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室	事業終了年度	平成24年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 悩みを抱える児童生徒、保護者、教育関係者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 学校生活を中心として悩みを抱える児童生徒、保護者、教職員関係者の悩みを軽減する 心の教室相談員や教育関係者、保護者等の相談能力向上と指導力向上等を図る
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・不登校児童生徒の在籍率の高い学校等にスクールカウンセラーを重点配置する ・心の教室相談員や教育関係者、保護者を対象として、研修会を開催する

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人		10,042	9,722	
対象指標2						
活動指標1	重点配置校相談時間数	時間		316	387	0
活動指標2	研修会開催数	回		5	3	0
成果指標1	重点配置校延べ相談件数	件		224	646	0
成果指標2	研修会参加者数	人		122	78	0
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	2,184	2,416	0
正職員人件費 (B)		千円	0	803	401	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	2,987	2,817	0

費用内訳	
24年度	報酬 1,362千円、報償費 479千円、旅費 181千円、需用費 232千円、負担金 補助及び交付金 162千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

悩みを抱える児童生徒等への教育相談体制は、スクールカウンセラーや心の教室相談員により支援されているが、よきめ細かな相談体制の充実と体制強化を図るため、国の地域活性化交付金を活用し実施する。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

上位の基本事業への貢献度が大きいスクールカウンセラー事業と心の教室相談事業の制度充実のための事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由  
・  
根拠は？

国の地域活性化交付金を活用することで、スクールカウンセラー事業及び心の教室相談事業のより一層の充実が図られた。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

光交付金事業は平成24年度で終了のため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由  
・  
根拠は？

相談体制を拡充するためには、心の教室相談員及びスクールカウンセラーの配置が必要である。